



2015 年 9 月 発行 NO. 28

「2015 ひろしま温暖化ストップ！フェア」開催報告

「2015 ひろしま温暖化ストップ！フェア」を7月24日の11:00～17:00、シャレオ中央広場において開催しました。

シャレオ中央広場においての開催は今回で3回目となります。2回の経験を踏まえて、いろいろと工夫を加え参加者は3,700名と若干ではありますが増やすことができました。

司会進行はキャロルさんをお願いしました。オープニングは会長挨拶のあと、広島市消防音楽隊による演奏から始まりましたが、外国人旅行者等の参加者、アンコールなど大変盛り上がり、幸先の良いスタートとなりました。



《編集・連絡先》

広島市地球温暖化対策地域協議会

[事務局] 広島市環境局温暖化対策課

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2229

E-mail: ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

ブース出展は企業・団体が8団体、行政関係が4団体となり、柱周りのブース数では収まりきれなくなりましたので、当協議会の省エネ相談コーナー及びパネル展示などは出入り口近くの周回部に設けました。

各団体には各視点からの省エネルギーの啓発展示を行っていただきました。今回新たに加わっていたいただいた企業はミズノ（株）で、グローブ作成時に端切れとして残った材料を用いてストラップをつくるコーナーを設けていただきましたが、子供達には人気のコーナーとなりました。





ステージイベントとしましては、江波山気象館による科学実験、広島市太極拳協会による太極拳の演武及び安芸の国スタジオによるミニコンサート等を行い、常に会場から音声が流れ出て、通路を行く市民の関心を惹きつけるように工夫しました。

市民の来場を促す工夫としましては、クイズラリーもその一つです。各出展ブースを観て聴いて回答していただくように、企業・団体出展者から問題を出題していただき、各ブースを訪ねると回答のヒントが得られるように工夫しました。

“2015ひろしま温暖化ストップ！フェア”は、過去2回の経験を踏まえて、いろいろ工夫を重ねた結果、参加者数も若干増え、充実したフェアを開催することができましたが、次年度はさらに工夫を重ねて、より多くの市民の皆さんの参加が得られるフェアにしていきたいと考えています。

7月から9月の活動

○イベント WG:

- ・ 2015 ひろしま温暖化ストップ！フェア
7月24日 省エネ相談とパネル展示
クイズラリー

○家庭・消費者 WG:

- ・ 温暖化ドクター事業
8月 10年間のまとめとして「家庭エネルギーの使用実態と省エネ対策」を作成



・ 草の根省エネ診断事業

- 7月24日 2015 ひろしま温暖化ストップ！フェア（シャレオ中央広場）
省エネ相談を実施（受診者 35 名）
- 9月25日 環境講座（草津公民館）
温暖化の最新情報と省エネ相談（受診者 6 名）

・ 草の根省エネ等出前授業

- IPCC 第5次評価報告書の内容等について出前授業を実施
- 8月3日 小学生対象の講座（宇品公民館）
- 9月7日 老人大学院講座
「地球温暖化について」
（広島市社会福祉センター）
- 9月10日 老人大学講座
「地球温暖化について」
（広島市社会福祉センター）
- *協議会の紹介と会員募集案内も実施

Oeco ちゃり WG:

- ・ 7月10日 フィールドワーク
JR 新白島駅前～広島市役所
- ・ 8月11日 フィールドワーク
白島通り女学院前～広島市役所
- ・ 9月18日 フィールドワーク
平和大通り



10月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします。

○イベント WG:

- ・ 10月11日 10時～15時
広島市環境局中工場
エコロジーマーケット
-環ッハッハ in よしじま- への参加
省エネ相談とパネル展示

Oeco ちゃり WG:

- ・ 10月27日 13時30分～
市役所4階共用会議室

○協議会全体会議:

- ・ 10月27日 15時～
市役所4階共用会議室

活動詳細レポート

「eco ちゃりフィールドワーク」

広島県内の家庭からのCO2排出に占める自動車の燃料由来の割合は約29%*であり、項目別にみると最も多くなっています。(*家庭エコ診断報告書参照)

これを踏まえて、私たちは“自動車から自転車へ”を提唱し活動を進めています。そこで自転車利用者からみた、広島市内道路の走行環境と駐輪場の実態調査を行い、それに基づいた改善提案を行なおうとしています。

本年の調査方法は市内主要道路の中から、自動車、自転車ともに走行量の多い約10コースを選定し、メンバー数人で自ら自転車に乗り、自転車から観た走行環境の具体的な問題点を記録し、後の報告会で内容の共有化を図ることにしています。

この6～9月で4回(4コース)のフィールドワークを行った概要を次に示します。

走行環境には下の2つのケースがあります。

(A) 車道の左側を、自動車と並走する

(B) “自転車走行可”の標識がある歩道の車道寄りを走行する

交通量の多い市中心部では安全性の面から

(B) が大半です。

(A) のケースでは、自動車優先の現状の中で走ってみて、自転車の右そばを自動車が走り追い越していき危険を感じる頻度が多く、しかも、前方には一時停止の車が時々おり避けて走らねばならない状況でした。

この解決策の1例は、ヨーロッパでやっているように、車道にレンガ色などの自転車専用レーンを標示し、自動車からもよく判るようにすることが考えられます。



(B) のケースでは、以下の問題を感じました。

(1) “自転車走行可”の標識の位置が曖昧で、歩道

を走って良いのか迷うことがよくある。(2) 歩道幅が狭く、歩行者と共存しにくい。(3) 歩道を走ると、横断歩道では道路の段差が多くあり、路面が濡れている場合は転倒の危険がある。(4) 歩道上には、ルール違反と思われる自転車等が放置されている。



歩道上の走行は、歩行者との接触事故が起き易く、これを最少化する方策が必要と考えられます。以上 第1報として報告します。

広島市からのお知らせ

「平成27年度広島市家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金」について

広島市では、地球温暖化対策として家庭におけるエネルギー利用のスマート化を推進するため、住宅に家庭用燃料電池の設置等を行う個人に対して補助金を交付します。

1. 補助金額 5万円/台

2. 募集台数 300台

3. 申請受付期間

平成27年8月3日(月)～12月15日(火)

* 申請受付期間内であっても募集台数に達した場合は、受付を締め切ります。

4. 申請先 広島市環境局温暖化対策課

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2227

制度の詳細や申請書等の様式は、広島市ホームページからダウンロードできます。

HP▶くらし・手続き▶ごみ・環境▶地球温暖化▶地球温暖化対策

○家庭用燃料電池(エネファーム)とは

都市ガス等から取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電する設備で、発電した際に生じた熱も給湯に活用することができるため、エネルギーを無駄なく、有効に活用できる環境にやさしい発電設備です。

太陽光発電施設の紹介(6)

みどり坂小学校(安芸区)

みどり坂小学校は、JR 瀬野駅の北斜面に造成された「みどり坂」団地の中に平成23年4月に開校しました。太陽光発電設備はこの新築に伴って設置されたものです。



- ・発電設備容量：40kW
- ・ソーラーパネル：220枚(4基)
- ・設置場所：校舎屋上
- ・平成24年の使用電力量と太陽光発電量については、みどり坂小学校のホームページにも掲載されています。それによると、平成24年の電気使用量に対する太陽光発電量の割合は21.2%になっています。

その内容は、「(1) 温暖化って何だろう？ (2) CO2 はどこからでてるの？ (3) 温暖化が進むとどうなるの？ (4) どうすれば温暖化をふせげるの？ (5) 今月からできる省エネってなんだろう？」です。

みどり坂小学校屋上の空きスペースには、今夏屋根貸しによる太陽光発電設備(37.5kW)が追加設置されています。



(みどり坂小学校のパネル)



(屋根貸しにより設置されたパネル)

次号(29号)の掲載予告

12月末発行予定

- ・エコロジーマーケット-環ッハツハ in よしじま-(10/11)の報告

協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。

編集後記

第28号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。E-mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp



玄関のエリアにモニター設備が設置されており、これらの設備を有効に活用して、環境教育の実践に役立てられています。

モニターには、「エコプロジェクト大作戦」として、現時点の状況モニター表示・過去の実績をグラフ化されているほか、「エコストーリー」で楽しく学習できる内容が盛り込まれていました。